

## ～親の手伝いから独立でがっぱり儲ける！～ 渡辺 幹也さん（今治市）

今治漁業協同組合 1977 年生まれ



### ☆経営概況☆

小型機船底びき網漁業 使用漁船（4.9トン）

漁場は瀬戸内海の燧灘 主な漁獲物はマダイ、ヒラメ、カレイなど

### ☆ここがポイント☆

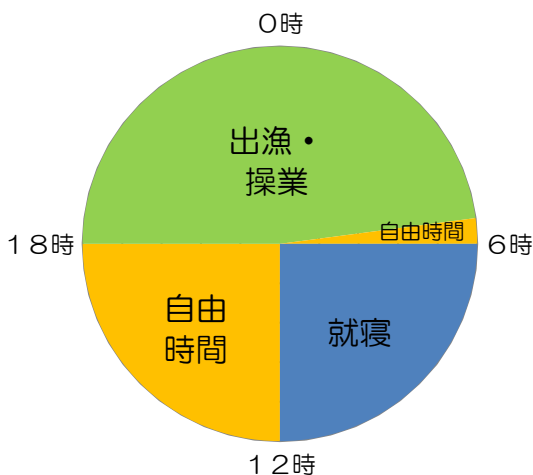
#### ■親の背中を見たからこそ就漁

昔は都会への就職（東京に行きたかった）を考えており、今となっては死語になってしまった『3K』仕事である漁業を継ぐなんて全く思ってもいませんでした。しかし、『子は親の背中を見て育つ』の諺ではありませんが、父親がしている夜の漁業・昼の漁準備を見ているうち、俺も漁業をしてみたいなのノリで漁業を継ぐ決心をしました。今だから言える話ですけど、**実は、漁業とは働いた分が自分の収入になる。これが大きかった。**漁業を始めた頃は、父親の船に乗り込み操船技術と漁業のイロハを教えてもらった。と書けば簡単そうだが、家では親子であっても、漁業に関することは師匠と弟子の関係（6年も）で、とても書ききれない苦勞（給料が小遣い程度、若い頃だけにこれが一番辛かった）もありました。その後、**独立して人並みの収入を得る**ようになり、恥ずかしながらテレビ局の取材で東京へも行けました。



今治漁港内に停泊中の小型機船底引き網漁船と自身の漁船

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

■酒が心の休息日☆

漁業は自然相手のため、天候の悪化により突然の休漁になることがある。そのときには家で、冷酒を飲みながら気の合う仲間と世間話をするのが、漁獲成績の報酬（自分へのプレゼント）としている。特に、お気に入りの地酒（男は辛口よ）を愛飲した後は気分爽快となり、明日の仕事に対する気力が充実します。

ついでに、暇時期に旅行（温泉目的）している九州方面にも旨い地酒の産地が点在しているので、見逃せられないところです。ただ、九州では「酒」を注文すると『焼酎』が出ますので、日本酒が欲しい場合は清酒とってください。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	出漁				休日	出漁
【普通期】	出漁				休日	



底引き網の漁獲物

☆これからの夢や目指すもの☆

■海底ごみ ゼロ！～環境保全のために～

小型機船底びき網漁業は名前のとおり、海底を引き回すため一般人が想像できないほど網中に大量のゴミが混入します。以前なら海に捨てていましたが、環境あつての漁業であることを思い出し回収して陸上処分をしています。海の利用者は生活のための漁師とレジャーの遊漁者に分かれるものの、自然の恩恵は同じであることから、夢としては双方の協力でゴミ回収ができればいいなと思います。

☆ひとことメッセージ☆

■子供を跡継ぎにするには？

親が子供の前で「儲からん」「疲れる」「魚が獲れない」などの悪いイメージで話すと、子供は絶対に漁師の跡継ぎにはならないでしょう。大漁の喜びも伝えることを忘れずに。